

学家の一層の連携を

吉田 種夫

本年度は新教育課程の実施三年目を迎えました。確かな学力と豊かな心の教育の充実の成果が、問われる時期を迎えています。学校が変わらなくては児童が変わりません。

おはようタイムやチャレンジタイムなど新しい学習の場を設け、自主性や創造性さらに問題解決能力の育成などに留意しています。また、指導方法の工夫としてTT授業（ टीमティーチング）など、一人一人の能力を伸ばすようきめ細かな授業にも配慮して

います。

学校では基礎・基本の力を育成し、更に積み上げ問題解決が出来るよう体験的な学習活動を大切にしています。

気付き・考え・実践するJRCの精神を大切にし、意欲的に活動できるよう働きかけをしています。更に、家庭・地域の皆様の絶大の支援を頂きながらより大きく育てたいと考えています。そこで、特に次の三点に配慮していますのでご協力ください。

本が好きな子
お手伝いの出来る子
宿題などができる子

校長先生

ご挨拶

有村和人

こんにちは。今年度、会長を皆様のご協力のもと力不足ながらお引受けし、がんばります。よろしく願います。さて、PTA活動について、私なりの思いをお伝えします。まず、保護者が子どもの学校教育に関わる活動を行いたいと考えています。

そして、これからの時代、次世代を担う子どもたちに求められる資質は、問題解決能力であり、私たち保護者が、子どもの見本となるべきものでもあると思います。

そこで、今年度の活動テーマに『親の学び姿を見て、子は育つ』を掲げ、サブテーマを『どうせやるなら楽しもうよPTA活動』としました。宮重大根を産する当地と桜島大根が名産である私の故郷では、大根の見た目と同様に言葉の違いで戸惑います。

しかし、生活教育のひとつが食育であり、地産地消との教えもあるように皆様と沢山お話することでPTA活動がより楽しくなると考えます。皆様のPTA活動へのご理解とご支援をお願いします。

PTA会長